

## お詫びと訂正

このたびは、日立アドバンスサーバ HA8000/RS210[2014年9月～モデル](以下 システム装置)をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

『ユーザーズガイド』に訂正箇所があります。謹んでお詫び申し上げます。

### ■ユーザーズガイド ～導入編～

- ・「1 システム装置を導入する前に」「1.7 運用に必要なソフトウェア」「1.7.1 Hitachi Server Navigator」(P.13)

誤									
<div>...</div> <div>補足</div>	<p>RS210 xN モデルでは、「Update Manager」のダウンロード/アップデート簡便化機能のうち、システム BIOS と BMC のダウンロード/アップデートをサポートしていないため、使用できません。</p>								
正									
	<p>▶ 『Hitachi Server Navigator - Update Manager/Log Collect』のサポートバージョンについて</p> <p>「Update Manager」のダウンロード/アップデート簡便化機能のうち、システム BIOS のダウンロード/アップデートは、次のバージョンでサポートしています。</p> <p>■ Windows : Ver.1.4.1.x以降、Linux : Ver.2.4.1.x以降</p> <p>また、BMC のダウンロード/アップデートは、次のバージョンでサポートしています。</p> <p>■ Windows : Ver.1.4.1.x以降、Linux : -</p> <p>なお、RHEL7.1 環境では、「Update Manager」Ver.2.4.0.5に含まれているアップデート機能、ログコレクト機能、情報表示機能のサポート範囲が限定されています。</p> <p>Ver.2.4.0.5がサポートする範囲は、次の表のとおりです。*3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象機能</th><th>サポート範囲</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アップデート機能</td><td>Update Manager のみ</td></tr> <tr> <td>ログコレクト機能</td><td>システム BIOS、BMC、Alive Monitor、Log Monitor のみ *1</td></tr> <tr> <td>情報表示機能</td><td>システム BIOS、BMC、Alive Monitor、Log Monitor のみ *2</td></tr> </tbody> </table> <p>*1 システムBIOS、BMC、Alive Monitor、Log Monitor、およびLAN以外のファームウェア、ドライバ、ユーティリティのログを採取する場合は、各デバイスのマニュアルをご参照ください。LANのエラーログは/var/log/messagesおよびdmesgに出力されます。</p> <p>*2 ファームウェア、ドライバ、ユーティリティのバージョン情報を表示する方法は、各デバイスのマニュアルをご参照ください。</p> <p>*3 Ver2.4.1.4以降、これらのサポート範囲の限定は解除されています。</p> <p>※最新の「Update Manager」サポート範囲について、明確化しました。</p>	対象機能	サポート範囲	アップデート機能	Update Manager のみ	ログコレクト機能	システム BIOS、BMC、Alive Monitor、Log Monitor のみ *1	情報表示機能	システム BIOS、BMC、Alive Monitor、Log Monitor のみ *2
対象機能	サポート範囲								
アップデート機能	Update Manager のみ								
ログコレクト機能	システム BIOS、BMC、Alive Monitor、Log Monitor のみ *1								
情報表示機能	システム BIOS、BMC、Alive Monitor、Log Monitor のみ *2								

## ■ ユーザーズガイド ～運用編～

- ・ 「1 運用の前に」「1.2 運用時の注意」「1.2.11 Hitachi Compute Systems Manager (HCSM) 使用時の注意」  
「(1) HCSM マネージャの上限数」(P.20)

### 次の内容を追加

…  
補足

- 本システム装置を複数の HCSM で同時に管理しないでください(本システム装置に対して複数の HCSM から同時に、サーバ情報の更新やリソースの探索、または、電源操作を実行しないでください)。
- 本システム装置を管理している HCSM のサービスが起動した状態で、「BMC Alert Register」を使用しないでください。「BMC Alert Register」は、システム装置を HCSM の管理対象に追加する前か、HCSM のサービスを停止した状態で実行してください。
- 本システム装置を管理している HCSM のサービスが起動した状態で、SMASH-CLP のコマンドを使用しないでください。
- 本システム装置に対して、同時に複数の端末から SMASH-CLP のコマンドを使用しないでください。

- ・ 「1 運用の前に」「1.4 運用に必要なソフトウェア」「1.4.1 Hitachi Server Navigator」(P.32)

### 誤

…  
補足

RS210 xN モデルでは、「Update Manager」のダウンロード/アップデート簡便化機能のうち、システム BIOS と BMC のダウンロード/アップデートをサポートしていないため、使用できません。

### 正

▶ 『Hitachi Server Navigator - Update Manager/Log Collect』のサポートバージョンについて  
「Update Manager」のダウンロード/アップデート簡便化機能のうち、システム BIOS のダウンロード/アップデートは、次のバージョンでサポートしています。

- Windows : Ver.1.4.1.x 以降、Linux : Ver.2.4.1.x 以降

また、BMC のダウンロード/アップデートは、次のバージョンでサポートしています。

- Windows : Ver.1.4.1.x 以降、Linux : ー

なお、RHEL7.1 環境では、「Update Manager」Ver.2.4.0.5 に含まれているアップデート機能、ログコレクト機能、情報表示機能のサポート範囲が限定されています。

Ver.2.4.0.5 がサポートする範囲は、次の表のとおりです。\*3

対象機能	サポート範囲
アップデート機能	Update Manager のみ
ログコレクト機能	システム BIOS、BMC、Alive Monitor、Log Monitor のみ *1
情報表示機能	システム BIOS、BMC、Alive Monitor、Log Monitor のみ *2

\*1 システム BIOS、BMC、Alive Monitor、Log Monitor、および LAN 以外のファームウェア、ドライバ、ユーティリティのログを採取する場合は、各デバイスのマニュアルをご参照ください。LAN のエラーログは /var/log/messages および dmesg に出力されます。

\*2 ファームウェア、ドライバ、ユーティリティのバージョン情報を表示する方法は、各デバイスのマニュアルをご参照ください。

\*3 Ver.2.4.1.4 以降、これらのサポート範囲の限定は解除されています。

※最新の「Update Manager」サポート範囲について、明確化しました。

## ■ ユーザーズガイド ～オプション編～

- ・ 「4 内蔵デバイスの取り付け」 「4.1 内蔵デバイスの種類」 「4.1.1 内蔵ハードディスク／内蔵 SSD」 (P.26)

誤		
品名	形名	仕様
・・・	・・・	・・・
内蔵 SSD	UH7200XCN	SSD、SATA 6Gbps、200GB、 <u>MLC</u> 、2.5 型
	UH7400NCN	SSD、SAS 12Gbps、400GB、 <u>MLC</u> 、2.5 型

正		
品名	形名	仕様
・・・	・・・	・・・
内蔵 SSD	UH7200XCN	SSD、SATA 6Gbps、200GB、 <b>eMLC</b> 、2.5 型
	UH7400NCN	SSD、SAS 12Gbps、400GB、 <b>eMLC</b> 、2.5 型

※SSD タイプの修正

- ・ 「5 拡張ボードの取り付け」 「5.1 拡張ボードの種類」 (P.35)

誤		
品名	形名	仕様
・・・	・・・	・・・
Infiniband ボード *8 *9	CQ9561MA	Express 3.0、56Gbps、FDR、8 レーン (×8)
	CQ9561MB	PCI Express 3.0、56Gbps、FDR、8 レーン (×8)、LowProfile
・・・	・・・	・・・

\*8 Linux 環境においてのみサポートします。  
 \*9 標準モデルとおまかせ安心モデルのみサポートしています。  
 ・・・


正		
品名	形名	仕様
・・・	・・・	・・・
Infiniband ボード *8 *9	CQ9561MA	Express 3.0、56Gbps、FDR、8 レーン (×8)
	CQ9561MB	PCI Express 3.0、56Gbps、FDR、8 レーン (×8)、LowProfile
・・・	・・・	・・・

\*8 **RHEL6.5とRHEL6.6環境においてのみサポートします。ただし、RHEL6.6のカーネルバージョンは「2.6.32-504.30.3.el6」のみサポートします。**  
 \*9 標準モデルとおまかせ安心モデルのみサポートしています。  
 ・・・


※サポートする Linux バージョンを RHEL6.5 と RHEL6.6 に限定

## ■ ユーザーズガイド ～リモートマネジメント編～


- ・ 「2 リモートマネジメント機能を使用するための準備」 「2.2 リモート端末の必要条件と設定」  
「2.2.4 サポート Java ソフトウェア」 (P.10)

次の内容を追加	
サポートする Java ソフトウェアのバージョンは次のとおりです。	
■	J2SE Runtime Environment : Version 7 (32bit 版)
■	<u>J2SE Runtime Environment : Version 8 (32bit 版)</u>
	...



- ・ 「3 リモートマネジメント機能使用上の注意」 「3.2 導入時および運用時の注意」  
「3.2.10 BMC ファームウェアのアップデート」 (P.32)

次の内容を追加	
	■ ...
■	...
■	...
■	<u>BMC のアップデート機能は、アップグレードのみで、ダウングレードはサポートしていません(「Hitachi Server Navigator」に含まれている「Update Manager」のアップデート機能を使用したダウングレードについても、サポートしていません)。</u>

- ・ 「3 リモートマネジメント機能使用上の注意」 「3.2 導入時および運用時の注意」  
「3.2.11 Hitachi Compute Systems Manager (HCSM) 使用時の注意」 (P.33)

次の内容を追加	
	■ 本システム装置を複数の HCSM で同時に管理しないでください(本システム装置に対して複数の HCSM から同時に、サーバ情報の更新やリソースの探索、または、電源操作を実行しないでください)。
■	本システム装置を管理している HCSM のサービスが起動した状態で、「BMC Alert Register」を使用しないでください。「BMC Alert Register」は、システム装置を HCSM の管理対象に追加する前か、HCSM のサービスを停止した状態で実行してください。
■	本システム装置を管理している HCSM のサービスが起動した状態で、SMASH-CLP のコマンドを使用しないでください。
■	本システム装置に対して、同時に複数の端末から SMASH-CLP のコマンドを使用しないでください。

- ・ 「4 Web コンソールを使用する」「4.4 ユーザアカウントを追加する」(P.47)

誤	<div data-bbox="271 216 332 280">   制限 </div> <div data-bbox="345 216 1166 280"> 工場出荷時に登録されている次のアカウントは、<u>削除したり、ユーザを無効にしたり、ユーザ名や権限を変更したりしないでください。</u> </div> <div data-bbox="345 280 802 347"> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ Compute：日立管理ソフトウェア用アカウント</li> <li>■ ceconsl：保守用アカウント</li> <li>...</li> </ul> </div>
正	<div data-bbox="271 452 332 515">   制限 </div> <div data-bbox="345 452 1166 515"> 工場出荷時に登録されている次のアカウントは、<u>削除したり、ユーザを無効にしたり、権限を変更したりしないでください。</u> </div> <div data-bbox="345 515 802 583"> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ Compute：日立管理ソフトウェア用アカウント</li> <li>■ ceconsl：保守用アカウント</li> <li>...</li> </ul> </div> <div data-bbox="211 602 504 633"> ※ “ユーザ名の変更” を削除 </div>

- ・ 「付録 A Web コンソール設定メニュー画面」「A.3 設定タブ」「A.3.1 BMC」「(1)ネットワーク」(P.99)

誤

【 \_\_\_\_ 】：工場出荷時設定値





設定項目	設定内容	設定値
...	...	...
ホスト名	ホスト名を設定します。	(空白)
...	...	...

正

【 \_\_\_\_ 】：工場出荷時設定値

設定項目	設定内容	設定値
...	...	...
ホスト名	ホスト名を設定します。	(空白) <u>BMC ファームウェアリビジョン「02.18」以降の場合、</u> <u>“ BMCxxxxxxxx ” が表示され</u> <u>ます。x は MAC アドレスです。</u>
...	...	...

- ・「付録 A Web コンソール設定メニュー画面」「A.3 設定タブ」「A.3.1 BMC」「(2) ユーザ管理」(P.106)

誤	<div data-bbox="268 214 330 278">  </div> <p data-bbox="344 214 1164 278">工場出荷時に登録されている次のアカウントは、<u>削除したり、ユーザを無効にしたり、ユーザ名や権限を変更したりしないでください。</u></p> <ul data-bbox="344 278 801 355" style="list-style-type: none"> <li>■ Compute：日立管理ソフトウェア用アカウント</li> <li>■ ceconsl：保守用アカウント</li> <li>...</li> </ul> <hr/> <div data-bbox="268 378 330 442">  </div> <p data-bbox="344 378 1164 442">工場出荷時に登録されている「Compute」ユーザは、<u>運用前にパスワードを変更することをお勧めします。パスワードの変更については、『HCSM』のマニュアルをご参照ください。</u></p>
正	<div data-bbox="268 535 330 598">  </div> <p data-bbox="344 535 1164 598">工場出荷時に登録されている次のアカウントは、<u>削除したり、ユーザを無効にしたり、権限を変更したりしないでください。</u></p> <ul data-bbox="344 598 801 676" style="list-style-type: none"> <li>■ Compute：日立管理ソフトウェア用アカウント</li> <li>■ ceconsl：保守用アカウント</li> <li>...</li> </ul> <hr/> <div data-bbox="268 695 330 759">  </div> <p data-bbox="344 695 1164 906">工場出荷時に登録されている「Compute」ユーザは、<u>運用前にユーザ名とパスワードを変更することをお勧めします。</u>  <u>ユーザ名を変更する場合は、権限は「アドミニストレータ」、SSH 公開鍵は「登録しない」を選択してください。</u>  <u>「Compute」ユーザのユーザ名、パスワードを変更した場合は、HCSM 側の認証情報も合わせて変更する必要があります。HCSM 側で HA8000 を探索する際の認証情報を変更する方法は、HCSM のマニュアルを参照してください。</u></p> <p data-bbox="207 915 550 940">※制限「ユーザ名の変更」を削除</p> <p data-bbox="207 950 755 975">※補足「Compute」ユーザの変更について説明を追加</p>

- ・「付録 A Web コンソール設定メニュー画面」「A.3 設定タブ」「A.3.1 BMC」「(2) ユーザ管理」  
「◆Active Directory プロパティ」(P.111)

<b>誤</b>		
【 ____ 】：工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
Active Directory 認証	認証 Active Directory 認証の有効／無効を設定します。	【有効】／無効
・・・	・・・	・・・
ドメインコントローラサーバアドレス 1	1 つ目のドメインコントローラサーバのアドレスを設定します。	0.0.0.0
ドメインコントローラサーバアドレス 2	2 つ目のドメインコントローラサーバのアドレスを設定します。	0.0.0.0
ドメインコントローラサーバアドレス 3	3 つ目のドメインコントローラサーバのアドレスを設定します。	0.0.0.0
<b>正</b>		
【 ____ 】：工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
Active Directory 認証	認証 Active Directory 認証の有効／無効を設定します。	<u>有効／【無効】</u>
・・・	・・・	・・・
ドメインコントローラサーバアドレス 1	1 つ目のドメインコントローラサーバのアドレスを設定します。	0.0.0.0 <u>BMC ファームウェアリビジョン「02.18」以降の場合、「（空白）」が表示されます。</u>
ドメインコントローラサーバアドレス 2	2 つ目のドメインコントローラサーバのアドレスを設定します。	<u>（なし）</u>
ドメインコントローラサーバアドレス 3	3 つ目のドメインコントローラサーバのアドレスを設定します。	<u>（なし）</u>
※（空白）は値が入力できる欄が表示されます。（なし）は値が入力できる欄が表示されません。		

- ・「付録 A Web コンソール設定メニュー画面」「A.3 設定タブ」「A.3.1 BMC」「(2) ユーザ管理」  
「◆LDAP プロパティ」(P.116)

<b>誤</b>		
【 ____ 】：工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
・・・	・・・	・・・
IP アドレス *1	IP アドレスを設定します。	0.0.0.0
・・・	・・・	・・・
バインドパスワード*1 *3	バインドパスワードを設定します。	<u>（空白）</u>
<b>正</b>		
【 ____ 】：工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
・・・	・・・	・・・
IP アドレス *1	IP アドレスを設定します。	0.0.0.0 <u>BMC ファームウェアリビジョン「02.18」以降の場合、「（空白）」が表示されます。</u>
・・・	・・・	・・・
バインドパスワード*1 *3	バインドパスワードを設定します。	<u>「●」で表示する</u>

- ・「付録 A Web コンソール設定メニュー画面」「A.3 設定タブ」「A.3.1 BMC」「(3)通報」「◆メール通報」(P.121、P.122)

**画面と表に次の内容を追加**  
*(BMC ファームウェアのリビジョン (バージョン) 「02.18」以降のみ訂正)*

設定項目	設定内容	設定値
***		
通報レベル設定		
通報レベル *1	通報されるイベントの種類を設定します。*9	Critical / 【Critical、Non-critical】 / Critical、Non-critical、Information / 個別設定
***		

\*8 20文字までの、「」（スペース）、「\*」、「?」、「=」、「<」、および「>」を除くASCII 文字列が使用可能です。  
 \*9 センサタイプの「SSD監視」は、本システム装置ではサポートしていないため、機能しません。



- ・「付録 A Web コンソール設定メニュー画面」「A.3 設定タブ」「A.3.1 BMC」「(3) 通報」「◆メール通報」(P.122)

<b>誤</b>		
【 〇 】：工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
・・・	・・・	・・・
宛先 2 (To) *1 *2	通報先のアドレスを設定します。	(空白)
宛先 3 (To) *1 *2	通報先のアドレスを設定します。	(空白)
・・・	・・・	・・・
認証 *1	有効／無効を選択します。	有効／【無効】
・・・	・・・	・・・
通報レベル *1	通報されるイベントの種類を設定します。	Critical／ <del>【Critical、Non-critical】</del> ／Critical、Non-critical、Information／ 個別設定
<b>正</b>		
【 〇 】：工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
・・・	・・・	・・・
宛先 2 (To) *1 *2	通報先のアドレスを設定します。	(なし)
宛先 3 (To) *1 *2	通報先のアドレスを設定します。	(なし)
・・・	・・・	・・・
認証 *1	有効／無効を選択します。	有効／【無効】 BMC ファームウェアリビジョン「02.18」以降の場合、“【有効】”が表示されます。
・・・	・・・	・・・
通報レベル *1	通報されるイベントの種類を設定します。	Critical／【Critical、Non-critical】／Critical、Non-critical、Information／ 個別設定 BMC ファームウェアリビジョン「02.18」以降の場合、“【個別設定】”が表示されます。
※ (空白) は値が入力できる欄が表示されます。(なし) は値が入力できる欄が表示されません。		

- ・「付録 A Web コンソール設定メニュー画面」「A.3 設定タブ」「A.3.1 BMC」「(3)通報」「◆SNMP 通報」  
(P.125、P.126)

**画面と表に次の内容を追加**

*(BMC ファームウェアのリビジョン (バージョン) 「02.18」以降のみ訂正)*



設定項目	設定内容	設定値
***		
通報レベル設定 *2		
通報レベル	通報されるイベントの種類を設定します。 *6	Critical / 【Critical、Non-critical】 / Critical、Non-critical、Information / 個別設定*5
***		

\*5 センサタイプごとに、通報するイベントを任意に設定することができます。

\*6 センサタイプの「SSD監視」は、本システム装置ではサポートしていないため、機能しません。

- ・「付録 A Web コンソール設定メニュー画面」「A.3 設定タブ」「A.3.1 BMC」「(3) 通報」「◆SNMP 通報」(P.126)

<b>誤</b>		
【 ____ 】：工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
・・・	・・・	・・・
コンピュータ名 *2 *3	SNMP 通報の中に入るホスト名を設定します。	【有効】／無効
・・・	・・・	・・・
通報応答確認 *2	通報時の通報先からの応答確認を有効にするかどうかを設定します。	【有効】／無効
通報リトライ回数 *2	通報時の送信リトライ数を設定します。	0 ～ 7 / 【3】
通報タイムアウト (秒) *2	通報時の送信タイムアウト時間を設定します。	3 ～ 30 / 【6】
・・・	・・・	・・・
2 次通報先 IP アドレス	通報先 IP アドレスを設定します。	0.0.0.0
3 次通報先 IP アドレス	通報先 IP アドレスを設定します。	0.0.0.0
通報レベル設定 *2		
通報レベル	通報されるイベントの種類を設定します。	Critical / 【Critical、Non-critical】 / Critical、Non-critical、Information / 個別設定 *5
<b>正</b>		
【 ____ 】：工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
・・・	・・・	・・・
コンピュータ名 *2 *3	SNMP 通報の中に入るホスト名を設定します。	(空白)
・・・	・・・	・・・
通報応答確認 *2	通報時の通報先からの応答確認を有効にするかどうかを設定します。	【有効】／無効 BMC ファームウェアリビジョン「02.18」以降の場合、「【無効】」が表示されます。
通報リトライ回数 *2	通報時の送信リトライ数を設定します。	0 ～ 7 / 【3】 BMC ファームウェアリビジョン「02.18」以降の場合、「【0】」が表示されます。
通報タイムアウト (秒) *2	通報時の送信タイムアウト時間を設定します。	3 ～ 30 / 【6】 BMC ファームウェアリビジョン「02.18」以降の場合、「【3】」が表示されます。
・・・	・・・	・・・
2 次通報先 IP アドレス	通報先 IP アドレスを設定します。	(なし)
3 次通報先 IP アドレス	通報先 IP アドレスを設定します。	(なし)
通報レベル設定 *2		
通報レベル	通報されるイベントの種類を設定します。	Critical / 【Critical、Non-critical】 / Critical、Non-critical、Information / 個別設定 *5 BMC ファームウェアリビジョン「02.18」以降の場合、「【個別設定】」が表示されます。

※ (空白) は値が入力できる欄が表示されます。(なし) は値が入力できる欄が表示されません。

- ・「付録 A Web コンソール設定メニュー画面」「A.3 設定タブ」「A.3.1 BMC」「(4)システム操作」(P.129)

<b>誤</b>		
【 ____ 】：工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
リモート KVM コンソール設定		
暗号化設定		
暗号化	リモート KVM の通信の暗号化有無を設定します。	有効 / 【無効】
...	...	...
マウス設定		
カーソルモード *2	カーソルの表示モードを設定します。	Single / 【Dual】
...	...	...
キーボード設定 *5		
キーボード言語	キーボード言語を設定します。	【Japanese (JP)】 / English (US) / French (FR) / German (DE)
リモートメディア設定		
暗号化設定		
暗号化	リモートメディアの通信の暗号化有無を設定します。	【有効】 / 無効
...	...	...

<b>正</b>		
【 ____ 】：工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
リモート KVM コンソール設定		
暗号化設定		
暗号化	リモート KVM の通信の暗号化有無を設定します。	【有効】 / 無効 BMC ファームウェアリビジョン「02.18」以降の場合、“【無効】”が表示されます。
...	...	...
マウス設定		
カーソルモード *2	カーソルの表示モードを設定します。	Single / 【Dual】 BMC ファームウェアリビジョン「02.18」以降の場合、“【Single】”が表示されます。
...	...	...
キーボード設定 *5		
キーボード言語	キーボード言語を設定します。	【Japanese (JP)】 / English (US) / French (FR) / German (DE) BMC ファームウェアリビジョン「02.18」以降の場合、“【English (US)】”が表示されます。
リモートメディア設定		
暗号化設定		
暗号化	リモートメディアの通信の暗号化有無を設定します。	【有効】 / 無効 BMC ファームウェアリビジョン「02.18」以降の場合、“【無効】”が表示されます。
...	...	...



- ・「付録 A Web コンソール設定メニュー画面」「A.3 設定タブ」「A.3.1 BMC」「(4)システム操作」(P.130)

<b>誤</b>		
【 ____ 】：工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
...	...	...
イメージリダイレクション / サーバ設定		
...	...	...
パスワード *7 *9 *11	31 文字までのパスワードを設定します。	(空白)
...	...	...
<b>正</b>		
【 ____ 】：工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
...	...	...
イメージリダイレクション / サーバ設定		
...	...	...
パスワード *7 *9 *11	31 文字までのパスワードを設定します。	「●」で表示する
...	...	...

- ・「付録 A Web コンソール設定メニュー画面」「A.3 設定タブ」「A.3.1 BMC」「(5)その他」(P.133)

<b>誤</b>		
【 ____ 】：工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
...	...	...
PEF 設定	Platform Event Filtering BMC からの SNMP 通報(PEF)の有効／無効設定を行います。 無効にすると、SNMP 通報が通知されません。 SNMP 通報を通知させたい場合は、本設定を有効にしてください。	【有効】／無効
...	...	...
<b>正</b>		
【 ____ 】：工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
...	...	...
PEF 設定	Platform Event Filtering BMC からの SNMP 通報(PEF)の有効／無効設定を行います。 無効にすると、SNMP 通報が通知されません。 SNMP 通報を通知させたい場合は、本設定を有効にしてください。	【有効】／無効 BMC ファームウェアリビジョン「02.18」以降の場合、“【無効】”が表示されます。
...	...	...

- ・「付録 D SMASH-CLP」「D.10 ユーザ設定」(P.170)

誤	<div><div><div>制限</div></div><div><div>■ . . .</div><div>■ 工場出荷時に登録されている次のアカウントは、<u>削除したり、ユーザを無効にしたり、ユーザ名や権限を変更したりしないでください。</u><ul style="list-style-type: none"><li>・ Compute : 日立管理ソフトウェア用アカウント</li><li>・ ceconsl : 保守用アカウント</li></ul></div><div>■ . . .</div></div></div>
正	<div><div><div>制限</div></div><div><div>■ . . .</div><div>■ 工場出荷時に登録されている次のアカウントは、<u>削除したり、ユーザを無効にしたり、権限を変更したりしないでください。</u><ul style="list-style-type: none"><li>・ Compute : 日立管理ソフトウェア用アカウント</li><li>・ ceconsl : 保守用アカウント</li></ul></div><div>■ . . .</div></div><div>※ “ユーザ名の変更” を削除</div></div>